

日ごろの積極的な救急救護への取組みを評価され C S P 多摩支社に立川消防署長から感謝状

「救急医療週間」に伴う感謝状等の贈呈式が9月12日、東京都立川市の立川消防署で行われ、C S P 多摩支社にも代表の三浦支社長に荒木堅善同消防署長の感謝状が贈られました。

多摩支社では3月と9月の特別研修で、応急救護の知識と技術を全員が体得しようと、同消防署で普通救命講習を受講しました。その結果、135人が終了しましたが、今回の感謝状は、こうした同支社の日ごろの積極的な救急救護への取組みに対して贈られました。

同支社では、これまでも救急救護には力を入れてきました。3月には、警備中の警務士が近くで起きた交通事故の負傷者を持参の三角巾で止血処置したり、臨時警備先のJR駅で、階段を踏み外して転落し、あごにけがをしたお年寄りに持っていた三角巾で応急処置を施すなど、数々の適切な救護事例を重ねています。



「荒木署長から感謝状を受ける三浦多摩支社長」